徳川美術館　名品コレクション展示室

令和元年 9月18日(水)～12月15日(日)

凡例：⦿は国宝、◎は重要文化財、〇は重要美術品

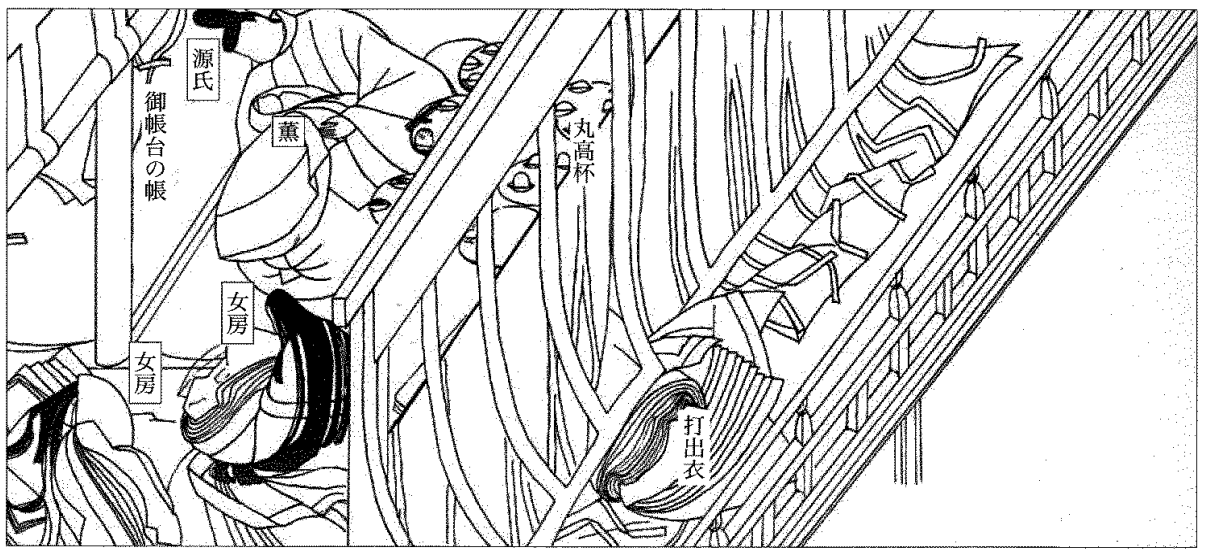
展示期間　A:9月18日(水)～10月16日(水)　B:10月17日(木)～11月10日(日)　C:11月12日(火)～12月15日(日)
D:11月12日(火)～22日(金)･12月3日(火)～15日(日)

【第５展示室】

大名の雅び　－ 奥道具 －

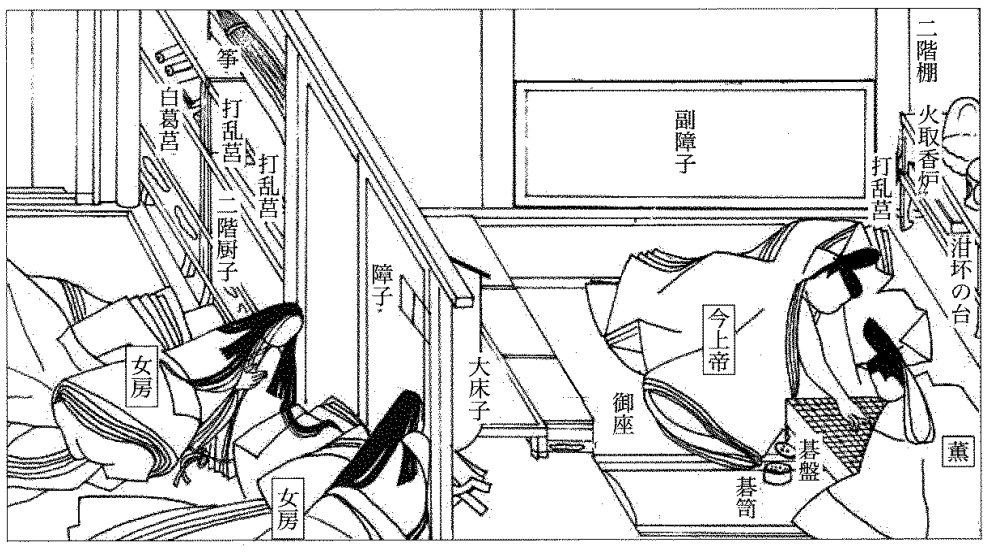
No.	名　　称	作者･所用者･所蔵者など	時代	世紀	期間
1	四季山水図屏風　六曲一双	伝賢江祥啓筆	室町	15-16	A
2 〇	古今著聞集図屏風　六曲一双	田中訥言筆　大脇家寄贈	江戸	文化10年<1813>	B
3	源氏物語図屏風　六曲一双		江戸	17	C
4	四季山水図巻 (雪舟筆「山水長巻」模本)		桃山-江戸	17	A
5	長谷寺縁起絵巻		鎌倉-南北朝	14	B
6	俊成卿九十賀図巻	詞書 冷泉為村筆･絵 高槻重起筆	江戸	18	D
7	源氏物語抜書　浮舟	後小松天皇筆	室町	14-15	C
8	白描源氏物語色紙画帖		江戸	17-18	C
9	菊折枝蒔絵鏡台	転陵院好君(尾張家9代宗睦正室)所用	江戸	18	AB
10	菊折枝蒔絵側簞笥		江戸	19	AB
11	菊折枝蒔絵提重		江戸	19	AB
12	菊折枝蒔絵重箱		江戸	19	AB
13 ⦿	初音蒔絵色紙箱	霊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用	江戸	寛永16年<1639>	A
14 ⦿	初音蒔絵小櫛箱	霊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用	江戸	寛永16年<1639>	BC
15	真珠貝玉箱	徳川家康･霊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用	東南アジア	16	AB
16	松梅紅葉蒔絵手箱		南北朝-室町	14-15	C
特別公開　国宝 源氏物語絵巻			**※展示期間 11月23日(土)～12月1日(日)**		
⦿	源氏物語絵巻 柏木(三) 詞1･2 絵		平安	12	※
⦿	源氏物語絵巻 宿木(一) 詞1･2 絵		平安	12	※

徳川美術館の至宝であるばかりでなく、わが国の代表的な美術品である、国宝「源氏物語絵巻」は、王朝時代の人々の雅びやかな暮らしぶりを余すところなく伝えてくれる現存最古の物語絵巻です。毎年 11 月下旬には、この絵巻から数場面を選んで特別公開をしています。もと巻物装として伝わり、昭和７年(1932)に保存のために額面装に改装されていました。近年、額面装による本紙への負荷を軽減するために再び巻物装に戻し、一場面ごとに絵と詞書を一巻の巻物に仕立て、絵巻本来の姿で鑑賞いただけるようになりました。



宿木(一)

秋の時雨のそぼ降る頃、帝は碁の相手に薫を召された。「今日は先ず、この花一枝許す」と、古歌に託して暗に女二宮(おんなにのみや)の降嫁をほのめかされる。この場面は、宮中・清涼殿の朝餉(あさがれい)の間を描いたと言われている。しつらえられた二階棚(にかいだな)や厨子(ずし)などの調度の文様が美しい。

柏木(三)

女三宮(おんなさんのみや)と亡き柏木の不義の子である薫の誕生五十日の祝いの席で、我が子ならぬわが子を抱き、若き日の藤壺中宮(ふじつぼのちゅうぐう)と犯した過ち、柏木の薄幸、女三宮の心痛、幼い薫の今後の運命を想い、源氏は心の葛藤に苦しむ。